佐呂間町教育委員会

授業の様子

3小合同でカボチャの収穫「道の駅」



を作成し、自分たちのこれまで の取組を紹介していました。

『ふるさと教育』の推進 人づくり・つながりづくり・地域づくりの循環 ~









5年生は、佐呂間小と若佐小 牧場で体験活動を行いました。 写真は浜小の和泉牧場での様子 にミルクをあげたり、考えてき た疑問を和泉さんに質問してい ました。児童は初めて体験する ことばかりで、目を輝かせてい ました。

イディー 大収穫し カボチ 道の駅 自分たちが育て、 を祭において、3年生のアースを設けました(右下写 。また、大きなカボチャは、 ・を作り、ハロウィン・ ・を作り、ハロウィン・ ・を作り、ハロウィン・ ・を作り、ハロウィン・ ・ なんがある。 5 年 生

本物体験で価値を実感

3 年 生

災等を学んでいます。「ふるさと教育」として、佐呂間町で地域を知る取組。中学校では、 ハー・二年は「生活科」におい 六年「持続可能なまちづくり」五年「酪農・畜産」四年「ホタテ」

1年度まで各小学校において で、総合的な学習の時間を「サロマ学」として取り組んでいます。昨年度まで各小学校において で、総合的な学習の時間を「サロマ学」として取り組んでいます。 で成したカリキュラム(学習を でのでありませる。 でのでありませる。 ではのでは今

カリキュラムを統

「ふるさと教育」の推進~人づくり・つながりづくり・地域づくりの循環~

サロマのヒト(人材)・モノ(自然・歴史・産業等)・コト(体験)を

サロマ人とともに学び、社会や地域づくりに貢献できる子どもの育成



視点:時間軸(現在·過去·未来)

1. 背景及び現状

《求められる責責・能力》 少子高齢化や人口減少、それに伴う地域活力の低下等が懸念され、かつ変化が激しく予測が困難な時代となっている。 このような時代に求められる資質・能力は、「地域の課題を発見し、解決に向けて主体的、協働的に取り組み、新たな価値

〈現代社会におけるふるさと教育の意義〉

世界がより身近になり、世界と日常的につながっている今、ふるさとについて学ぶ意義は、子どもたちにとって生きていく いがら検討する必要がある。

1114

私たちの町自慢② 【サロマのホタテ】 ○学習過程 ・課題の設定

・課題の設定 ※なず、タテー 身近な「?」 ・情報の収集 ※歴史、栽培方法加工 ・整理・分析 ※必要な消輸別の呼味 ※情報の比較・検討 ・まとめ・表現 ・ないへのプレゼン

〇本物体験 ・植樹、漁業体験

《佐呂間町の児童生徒の現状》 これまでも各教科等で佐呂間町について学んでいるが、主体的に ふるさとに関わり地域社会の中で行動しようとする意欲は低い傾向

-12.6-8.2 -5.8 11.4

する力

【育てたい資質・能力】

・本物体験等を通じて「ふるさとで生きる」価値の実感 ・ふるさとのよさを実感し、価値付け、発信するカ ・ふるさとの課題を発見し、多様な他者と協働して解決

ふるさと教育① 【姉妹都市交流】 ○学習過程 ・課題設定

・課題設定 ※アラスカと佐呂 間の歴史について

・情報の収集・パーマ生徒との

交流 ・まとめ・表現 ・まとかを表現 ・まとがを表現 ・まとができる。 けた英語の発表資 料作成、発表撮影、 撮影データによる 交流。

〇佐呂間のこれから

〜ぶるさとへの提案〜 ・9年間の学びのゴ

ル(9年間の学びに必

いて学んだ子ともに ちが、佐呂間のこれか らをじっくりと考え、 提案

創造(地域を創る)

佐呂間町の自然、産業、歴史・文化等について、地域 住民との関わりを通して、「ふるさとサロマ」に対する誇り と愛着を育み、地域社会の一員として「ふるさとで生き る」価値を実感

空間軸(佐呂間町・道内・国内・外国)

中2

ふるさと教育② 【姉妹都市交流】 ○学習過程 ・課題設定

※パーマと日本の 遊びについて

・情報の収集・パーマ生徒との

・まとめ・表現 ※パーマ生徒に向 けた英語の発表資

実感(地域を知る)※本物体験

小3

【きれいにさいてね わたし の はな】

【目ざせ野さい作り名人】 【まちが大すきたんけんた

・まちに ついて 話そう ・たんけんに出かけよう

・わたしのまちの くふう

〇本物体験 ·栽培体験 ·調理体験 佐呂間大収穫祭 ※ハロウィン 〇人材活用

·調理体験 佐呂間大収穫祭 ※輸出 〇人材活用 ・佐呂間町長(役場) ・JAサロマ ·佐呂間町長(役場) ·佐呂間漁協 ·畑作農家 水産事業者 · 商工会議所 · 各地の空港 ·商工会議所 ※都農町との連携

私たちの町自慢③ 【ザロマの路標・音座】 〇学習過程 ・課題の設定 ※なぜ路農、畜産 ・情報の収集 ※歴史・栽培が大加工・整理・分析・ ※必要・消精化が呼珠 ・ ※情報の比較・検討・ まとめ、表別・

※○○へのプレゼン ○本物体験 ·飼育、搾乳体験 ·調理体験 ·佐呂間大収穫祭

※外国とのつながり 輸出先、配合飼料 〇人材活用 ·佐呂間町長 ※役場関係課 ·水産事業者
·商工会議所

思考(地域を考える)※本物体験(一部) 私たちの町自慢④

【持続可能な まちつ ○学習過程 づくり】 盛り上げる? ・情報の収集 ※歴史、環境、 国際理解、SDGs ·整理·分析 ※必要は情報化の吟味 ※情報の比較・検討・まとめ・表現 ※〇〇へのプレゼン

◇ へいっしょう◇ 本物体験・お年寄りとの交流※外国とのつながり。良さを広める ※役場関係課・NPO・老人会

AND SECOND SECON

・桶社 佐呂間町の局齢化や老人桶在についての理解を深める。 ・防災:中1 自然災害を学ぶ(網走気象台) 中2 避難所設営方法を学ぶ(町役場) 中3 遊難所運営方法を学ぶ(振興局)

ふるさと教育① 【姉妹都市交流】 ○学習過程 ・課題設定

※パーマと日本の食について

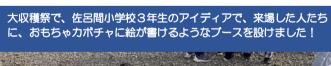
・情報の収集 ・パーマ生徒との 交流

・まとめ・表現 ※パーマ生徒に向 けた英語の発表資

○ 佐呂間町のキャリア ・中1 佐呂間町についての理解を深める ・中2 佐呂間町の現状を基にした課題を持つ

○ 佐呂間町の福祉・防災 ・福祉: 佐呂間町の高齢化や老人福祉につい

・中3 佐呂間町活性化プレゼン作成





「JAL DE パンプキンキャンペーン」 国内46の空港で佐呂 間産のカボチャを展示。ここでも児童が育てたカボチャが活躍。 ディスプレイが最も素敵だった空港に対して、武田町長より表彰盾 を贈呈予定!



○「情報活用能力育成に係る系統表」を踏まえた取組 ・一人一台端末を効果的に利活用 ・Web会議アプリを活用した交流学習